

ひがしはるちかちくのうち・みず・かんきょうほぜんかんりきょうてい

# 東春近地区農地・水・環境保全管理協定（伊那市）

・組織の活動面積 A= 476.09 ha	組織形態	共同活動 ■	中山間直接支払 □	向上活動 □
・組織の構成員数 約 1,500 人	取組開始年度	平成19年～	—	—

構成員	農家、農業委員会、農業振興センター、8区（車屋・中組・渡場・中殿・下殿島・田原・榛原・原新田）、春富土地改良区、水利組合、衛生自治会、消防団、育成会、春富中学校・東春近小学校PTA、JAほか
-----	---

## 組織の概要

天竜川と三峰川の合流点左岸に広がる水と土に恵まれた稲作地帯で、8つの集落に跨って広域的に取り組んでいます。

農地の保全、農業用施設の維持・管理、環境教育を皆が一丸となって実施することにより、地域のまとまりがさらに強くなってきています。

## 「協働」で守る、ふるさとの環境

基礎活動は、多くの方に参加していただき実施しています。



本年3月～4月には河川、用水路、排水路の井洗い(堆積泥、ゴミの除去)が、住民参加により全支部一斉に実施されました。



荒廃農地の再生や、老朽化が著しい用排水路の改修から、目地詰め作業等きめ細やかな補修管理が共同作業で実施されています。



各支部で道路・水路脇の花壇造成及び花の管理が年間を通じ各所で進められています。



長野日報 記事 (H24.8.8)

東春近地区民が清水川で観察会。伊那市の東春近地区農地・水・環境保全管理協定運営委員会(中村正樹会長)は4日、地域を流れる清水川に生息する水生生物の観察会を開いた。

清水川に生息する生物を調べる参加者。田原では約50人が参加した。川の中を慎重に歩き、魚がいそうな場所を網ですくると、シヨウやサワガニ、アブラハヤなどが入っていた。東春近小3年の浦野悠平君(9)は「初めて清水川に入ったが、ザザンやカニなどを捕まえることができて楽しかった」と話した。中村会長は「50年ほど前、自分が小さかったころはよく魚釣りや泳いだりして遊んだ場所。今回をきっかけに、子どもたちに川の思い出をつくってもらえれば」と話した。



ヨシノボリ

ギンブナ



「カワセミ通信」を発行し、皆さんに広報しています。



講師による解説



アマゴの放流

子供から大人まで、楽しむことができました。